

のびやか



53号

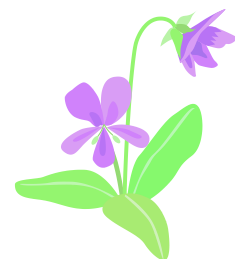


ひまわり東棟では、昨年度最後の行事として、平成24年3月25日（日）にデイルームにて、『思い出会』を実施しました。この催しは、ひまわり東棟の利用者ひとりひとりが、この1年間にどんな活動をやってきたのか、活動の写真をスライドに流し思い出を振り返りました。気候の良い時に出かけたリニア鉄道館や名古屋市科学館などいい思い出がたくさんできました。たくさんのご家族にお集まりいただき、皆で楽しく振り返ることができました。

（支援員 葛谷）

目次：

特集「小児科から」	2
「食べる」機能の発達	3
母子通園施設の紹介	4～5
入所部門	6～7
読書コーナー	7
掲示板	8



『脳障がいの原因について』

～第4話～

青い鳥医療福祉センター

小児科医長 橋本真帆

今回は周生期以降に起こる脳障がいの原因として多い髄膜炎、脳炎についてお話をさせていただきましたと思います。

元気に生まれてきたお子さんでも、新生児期や乳幼児期に重い脳炎や髄膜炎にかかってしまうとその後の脳の発達に大きな影響が及び、麻痺やてんかん、知的障がいを残したりすることがあります。

●髄膜炎とは・・・

何らかの細菌やウイルスの感染が脳の周りを覆っている髄液におよび、炎症がおこる状態をいいます。全身にでる症状としては一般的には発熱、頭痛、嘔吐といわれていますが、小さな赤ちゃんの場合にはなんとなく元気がなくぐったりしている、だけが主な症状のことがあります。

髄膜炎は大きく分けると細菌の感染による細菌性（化膿性）髄膜炎と、ウイルスなど細菌以外の病原体による無菌性髄膜炎があります。

細菌性（化膿性）髄膜炎は肺炎球菌やインフルエンザ桿菌、B群連鎖球菌などの細菌が髄膜に炎症をおこし、脳内の圧力が高くなってさまざまな症状をおこすものをいいます。

炎症が強いと意識障がいやけいれんがみられ、次第に呼吸状態も悪くなっていくことがあります。小児科医は常にこの病気を念頭において検査や治療を始めなければなりません。背骨と背骨の間から針を刺して髄液検査をおこない、髄液中の白血球や糖、たんぱくなどを調べます。また髄液の培養をして、どんな細菌がいるかを検査しておきます。しかし、脳の圧力があまりに高くなっている時に髄液を抜く検査をすると、脳ヘルニアという状態をおこし、急激に状態が悪くなることがあるので、頭のCTなどで事前に脳の状態を確認し、脳ヘルニアを起こす可能性が高い場合は髄液検査をしないですぐに抗生剤による治療などを開始することがあります。

細菌性髄膜炎は経過がとてもはやく、全身状態が急激に悪化することがあるため、数日かかる細

菌培養の結果を待たずしてすぐに適切な抗生剤による治療をはじめめる必要があります。また、後に重篤な神経後遺症が残ることがあるため、その後の発達のフォローが必要となってきます。

最近になって、この化膿性髄膜炎の原因菌として多い肺炎球菌やインフルエンザ桿菌の予防接種が日本でも受けられるようになりました。これによりかなり多くの化膿性（細菌性）髄膜炎後遺症が予防できると考えられています。

無菌性髄膜炎は様々なウイルス感染によりおこります。ムンプス（おたふくかぜ）ウイルスや手足口病をおこすエンテロウイルスは比較的髄膜炎を起こしやすいといわれていますが、頭痛や発熱、嘔吐があっても自然に軽快して重い後遺症を残すケースは比較的少ないといわれています。

これに対して、ヘルペスウイルスやインフルエンザウイルスは脳へ直接侵入しやすく、髄膜炎を併発した脳炎となることが多くみられます。脳炎は重い神経後遺症を残したり命を脅かす重篤な病気です。ヘルペスウイルスやインフルエンザウイルスを髄液から検出できるまでにはある程度の時間がかかりますので、無菌性髄膜炎であってもつねにこれらのウイルスを念頭に置きながら治療を行う必要があります。

脳炎を発症しているときは意識障がいやけいれんがおこり、脳にむくみが生じる脳浮腫となることが予想されます。すぐに脳のむくみをとる薬の点滴をはじめ、ヘルペスウイルスやインフルエンザウイルスに有効な抗ウイルス薬を使用します。またけいれんの予防のために抗痙攣薬を投与することがあります。

最近では日本でも様々なワクチンが接種できるようになってきております。

適切な時期に適切なワクチンを接種することによって、脳炎や髄膜炎で尊い命が奪われたり重い後遺症を残すことが予防できることを強く願っています。

「食べる」機能の発達（2）

リハビリテーション部 作業療法士 加藤 千史



今回は「離乳中期」について触れていきます。離乳を開始ししばらくでもったりとしたペースト状の食物が「ごっくん」と飲み込める様になる頃から

「食べる」運動の次段階の動きがみられるようになります。離乳中期には食物を口に入れてもらうのを口を開けて待つのではなく、スプーンにのった食物を自ら唇ではさんでとる（外見上、鼻の下が伸びてみえる）ようになってきます。唇を閉じる事が上手になると、口腔内で舌が動かし易くなり、舌で押しつぶしたり食物を唾液とまとめてから飲み込めるようになります。以上をふまえ脳性まひの子どもに対する食事介助のポイントについて触れていきます。

脳性まひの子どものなかには、定頭しておらずまた、全身の緊張を自分でコントロールする事が苦手な姿勢が崩れる人もいます。頭や体が不安定な状態だと、唇を閉じる事や飲み込む事が困難になります。頭や顎の動きを介助する時、介助者自身が自分の脇をしっかりしめる事で子どもの頭と顎を安定させる事<図①>が大切です。頭が後ろに反ってしまうと唇が開いてしまうので、介助者は子どもの頭を少し前かがみにする事で唇が閉じやすい状態にします。また口を拭く時、口を閉じる方向に向かって拭く事で、唇を閉じる動きを促す事もできます。<図②>

食べる時の基本姿勢として、体を起こした状態の

方が口の中で食べ物を処理し嚥下しやすいという点があります。寝たままで口を閉じる事ができず、また本人の意思に関係なく食物が喉に落ち込んでしまい飲み込みのタイミングがずれて誤嚥する可能性もあります。また起こした姿勢でも、腰や首がねじれないようまっすぐ向かせる事が大切です。たとえば不随意的に全身が緊張してしまう子どもの場合は、肩・肘・腰・膝・足が屈曲した（丸まった状態の）姿勢を促すと反り返るような緊張が取れやすくなります。子どもの状態によっては、この姿勢が持続できるような特殊な椅子（座位保持装置）を使う事で子ども本人が食べやすくなったり、食事介助が楽になる事があります。ただしこれらの介助法が全てではありません。たとえば全身状態があまり良くなく終日臥位で過ごしている子どもにも同じ姿勢を促したところで、子どもにとっては負担でしかない場合もあります。子どもの状態に合わせた姿勢を考える必要があり、それぞれの子どもの合った介助の仕方で食べる動きを促していく事が重要です。

次回は離乳後期について触れていきます。

（参考文献：金子芳洋編集、食べる機能の障害、向井美恵編集、食べる機能をうながす食事、向井美恵編著、乳幼児の摂食指導、医歯薬出版。）



<図①>



<図②>

母子通園施設の紹介

第15回 豊山町

母子通園施設「ひまわり園」訪問記

今回は豊山町にある母子通園施設「ひまわり園」を見学させていただきました。平成20年4月に開設され、今年の3月で4年が経過するそうです。

「ひまわり園」は就学前の発達に不安や心配のあるお子さんを対象に、親子での集団療育を提供しています。日常生活への適応能力など心身の発達を援助するとともに、子育てに喜びや楽しみが持てるように、親御さんへの支援もあわせて行われています。

建物は豊山町の総合福祉センターと併設で、以前はデイサービスとして利用されていましたが、療育がしやすいように改修されたそうです。保育室は床暖房のあるじゅうたん敷きの部屋で、備品も綺麗に片付けられるように工夫されていました。自由あそびのおもちゃも棚にかたづけ、カーテンで隠すなど、必要なもの以外は目に見えるところに置かないようにして、子どもたちの気がそれないようにしています。また、下駄箱やトイレの前にじゅうたんを敷いて分かりやすくする、窓にブラインドやカーテンをかけて、外や隣の部屋からの刺激を少なくするなど、子どもたちが療育に参加しやすいように、いろいろな工夫がなされていました。当センターも施設支援などで、施設の使い方や備品の配置など、開園にむけた事前の話し合いから関わらせてもらったそうです。



見学した日は8組の親子が参加予定でしたが、保育園の行事と重なり、3組の参加となりました。自由あそびのかたづけを終えると、まずは、先生

「地域の事業所紹介」を掲載してきましたが、今号からは34号まで掲載していた「母子通園施設の紹介」の続きを掲載させていただきます。

◎プログラム

時間	内容
9:00	登園・帳面（シールはり） 朝の身支度
10:30	体操・ふれあいあそび おはようの会 （おはようの歌・名前呼び・手遊び） トイレ
11:00	課題活動
11:45	弁当準備（トイレ・手洗い） お弁当 歯磨き・片付け（歯ブラシ、コップ） 自由あそび
12:50	お帰りの会（絵本など、お帰りの歌）
13:00	降園

やお母さんと一緒に体操を行います。その後に、ふれあいあそびで「雑巾の歌」をしました。歌に合わせてチクチクと子どもの体をくすぐったり、床を拭くように子どもの体をさすったり、どの子どもも笑顔で楽しそうでした。次に「おはようの会」が始まります。

先生が「イスを持って来て座って下さい」と分かりやすく声をかけます。なかなかイスを持ってこられない子にはスタッフが寄り添い、座る位置を伝えたり、みんなが座るまでじっくり待ちました。「朝のあいさつ」をする時も、子どもがしっかり耳を傾けられるように、「あいさつしまーす」と静かになるまで待ち、みんなの気持ちが切り替わってから始めていました。「おはようの歌」を歌った後に、「お名前呼び」をしまし



た。この日は3人の子どもたちが、名前を呼ばれると「ハイ！」と返事をする事ができていました。時々座ってられなくて、立ち上がってしまう子もいますが、優しく声をかけ、座るよう促します。手遊びは、「上がり目（鼻）、下がり目（鼻）」を楽しくやっていました。

「おはようの会」が終わると、先生が「トイレにいきましょう」と声をかけます。トイレに座る子、オムツを替える子など個々の発達に合わせて、排泄指導をされていました。トイレが終わった後は、しっかり手を洗うように伝えていました。

そして、みんなが戻ってきたら、課題活動の時間です。この日は「電車あそび」をしました。順番に一組ずつ親子の名前を呼んで、電車に見立てた箱の中に子どもが入り、お母さんがつないであるロープをひっぱり歌に合わせて保育室を回ります。順番でない子どもはお母さんと一緒にイスに座って待っています。それを4回ずつ繰り返しました。始めは箱に入ることに少し抵抗のあった子も、友達が箱に入って楽しそうに引っ張ってもらっている姿を見たからか、最後は少し箱の中に入ることができました。4回目が始まる前に「あと1回ずつで終わりにします」と事前に子どもに伝えることで、終わりもしっかり理解できているようでした。



課題活動が終わると、トイレに行き、手を洗い、お弁当の時間になります。それぞれ持ってきたお弁当を開け、「わ～、ウィンナーが入ってる」と嬉しそうに教えてくれる子もいました。みんなで「いただきます」をして食べ始めました。

昼食の時間は、みんなでお弁当を囲みいろんな話をされるそうです。子どものことを誰にも相談できず、孤立しているお母さんもここに来て、同じ悩みを抱えている他のお母さんと話をすることで安心したり、情報も得られるなど、とても良い時間になっているそうです。また冷めてしまったお弁当を温めることができるように電子レンジが置いてあり、先生が「お弁当温めます」と声をかけていました。ちょっとした気遣いがうれしいなと思いました。

ひまわり園の先生のお話を伺って、印象的だったのは、「とにかく通園して下さる親子に感謝です」と何度もおっしゃっていたことです。「ひまわり園に通おう」と思ってもらわないと何も始められないし、「まだ開園して4年でスタッフも沢山学ばせてもらっている」「通ってもらって共に成長できている」と話してくださいました。また親子で通園することで、子どもの様子や行動など、その場でお母さんに伝えることができ、一緒にどうしたらよいか考えることができているそうです。

療育中も、子どもと一緒に先生方も笑顔が絶えず、とても楽しそうにされていました。笑顔は他の人の笑顔も引き出して、みんな楽しい雰囲気してくれるんだなと感じました。

父親参観、卒園した子どもの親を中心とした親の会のボランティアや、レスパイトなど新しいことも順々に始められているそうです。先生方は試行錯誤の連続とのことでしたが、通園されている親子と共に歩まれている姿が印象的な「ひまわり園」でした。
(保育士 天野)

母子通園施設「ひまわり園」

◎利用定員：12名

◎療育日

月・火・水・木曜日（週4日）

金曜日は懇談・子育て相談

◎年間行事



	活動内容		活動内容
5月	園外学習	12月	クリスマス会
7月	たなばた	2月	節分
8月	水あそび	3月	お楽しみ会

入所部門

医療型障害児入所・療養介護施設 「たんぽぽ西棟」

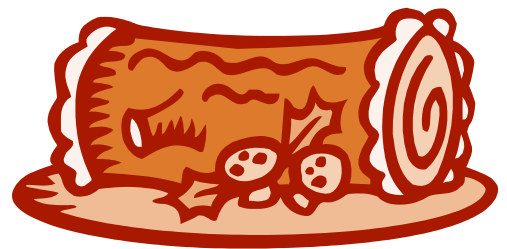
♪ クリスマス会 ♪

キャンドルサービスに始まった会は、病棟内に颯爽と登場したサンタ&トナカイから、素敵なクリスマスカードをプレゼントされ、利用者の皆さんは大喜び。利用者レクリエーションや愉快的な歌のステージなど楽しい出し物が続きました。この日のために用意されたケーキは特注の品。とてもおいしかったようで、皆さん残さずにぺろりと平らげていました。

(保育士 片桐)

報告が遅くなりましたが...
「クリスマス会」の様子です。





☆☆平成23年12月14日☆☆

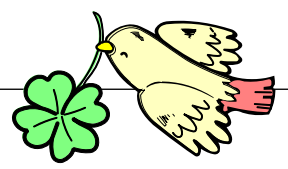
読書コーナー

「おやおや、おやさい」

石津ちひろ 文 山村浩二 絵

この絵本は、やさいたちのマラソン大会のお話です。ユーモアたっぷりの絵とリズムカルな言葉遊びで表現されていて、それぞれのやさいの個性がうかびあがってきます。美味しそうで元気いっぱいなやさいたち。そんなやさいたちが一生懸命走る姿が、とても楽しく、誰が1等賞になるのかハラハラします。ぜひ、大きな声をだして言葉遊びをたのしみながら読んでもらいたい絵本です。
(支援員 西口)





外来診療のご案内

	月	火	水	木	金
午前 9:00 ~ 12:00	リハ科(岡川)	小児発達外来(安井)	リハ科(岡川)	整形外科(栗田)	整形外科(栗田)
	小児科(麻生)	小児科(橋本)	小児科(麻生)	耳鼻科(別府)	小児科(安井)
午後 1:30 ~ 4:00	児童精神科(野邑) <第1・3・5>	児童精神科(鈴木)	小児発達外来(安井)	児童精神科(早川) <第2・4>	児童精神科(森川) <第1・3・5>
	歯科(伊藤)	歯科(伊藤)	泌尿器科(斎藤) <原則；第2・4>	歯科(河合) <毎月1回>	児童精神科(小野) <第2>
		小児科・染色体外来 (山中) <第2・4>	眼科(高井)	小児外科 (小児外科医) <第1・3>	小児外科 (小児外科医) <第1・3>
	耳鼻咽喉科(別府)	児童精神科(鈴木)	歯科(岡本)	児童精神科(森川) <第1・3・5>	児童精神科(森川) <第1・3・5>
	児童精神科(野邑)	外来新患カマメ		児童精神科(小野) <第2>	児童精神科(小野) <第2>
	歯科(伊藤)			構音障害(安井) <第4>	構音障害(安井) <第4>



○平成24年4月1日現在の外来診療です。
 ○受診を希望される方は、電話で予約してください。

 ☆ ホームページもご覧ください ☆
 ☆ <http://aoitori-center.com/> ☆

 ☆ *過去の「のびやか」も掲載されています。 ☆
